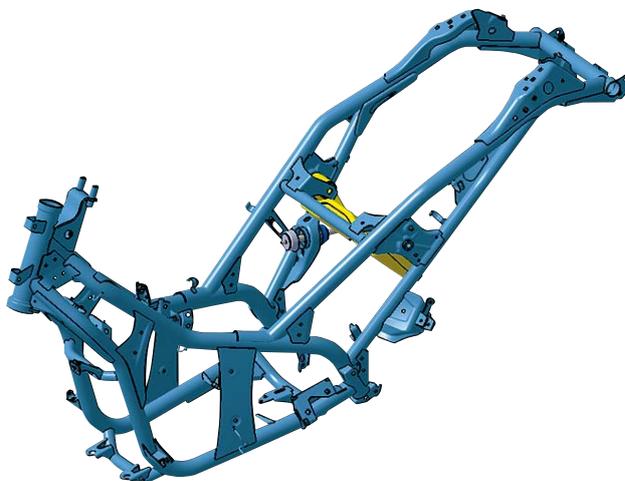


フレームボディー

フェイスのフレームボディーは、ベースとしたフォルツァと同様、高張力鋼管を採用したバックボーンタイプとしています。より俊敏な特性を狙いとして、フレームピボット回りを中心に剛性バランスの最適化をはかりました。具体的には、縦剛性値をフォルツァ比+14%とすることでブレーキング時の安定性と車体倒し込み時の軽快感を獲得、横剛性値はフォルツァ比-20%とし、ギャップ乗り越え時などの安定性を向上させることで、軽快な操縦性と安定性の両立を実現しました。また、幅方向を絞り込んだフレーム構成はコンパクトでスポーティーなリアボディーを可能としました。



●フレーム比較図

